

- (1) **has**
「have to」は客観的な必要性を表します。「has to」は三人称単数形です。

- (2) **must**
mustは個人的な強い意志や命令を表します。「遅れてはいけません」という意味です。

- (3) **should**
「should not」で「べきではない」という忠告を表します。

- (4) **may**
mayの可能性の意味で「正解かもしれません」という意味です。

- (5) **have**
過去のhave toは「Did you have to」の形で「参加する必要がありましたか」という意味です。

- (6) **must**
過去の推測で「彼は指示を正しく理解していなかったに違いない」という意味です。

- (7) **We must complete this project by next Friday.**
強い義務を表すmustを使った文です。

- (8) **Should you not apologize to him?**
否定の疑問形で「彼に謝罪するべきではないのですか」という意味です。

- (9) **They may not succeed without help.**
mayの否定で「成功しないかもしれません」という意味です。

- (10) **ウ**
個人的な忠告や意見を示すので「should」を使います。

- (11) **イ**
可能性や推測を表すmayで「かもしれません」という意味です。

- (12) **イ**
過去の必要性を表す「had to」を使います。

- (13) **ウ**
過去の否定的推測で「見ていなかったに違いない」という意味のmustを使います。

- (14) **You should drink more water.**
忠告や助言を表すshouldを使って訳します。

- (15) **He may not have heard what I said yesterday.**
過去の可能性を表すmayと過去完了を組み合わせた表現です。